

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（霧島市）

事業名	霧島市文化財少年団	実施時期	令和7年8月5～7日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	小学生を対象に「見る・聞く・触れる体験活動」を通して、ふるさとの歴史や衣食住の文化に対する理解を深めるきっかけをつくる。		
参加者	小学4年～6年生 30名		
活動概要	・火山って何？砂金採りに挑戦しよう！ 日時：8月5日（火） 9時～16時 場所：隼人塚史跡館 内容・講師 ①火山の講話・体験 霧島市ジオパーク推進課 石川 徹さん ②砂金採り体験 霧島ジオガイドネットワーク 大尾桂久さん ・縄文時代へタイムスリップ！～石器作り&くん製料理に挑戦！～ 日時：8月6日（水） 9時～16時 場所：上野原縄文の森 内容・講師 ①石器作り見学・体験 上野原縄文の森園長・職員 ②くん製づくり体験 上野原縄文の森職員 ・溶岩や火山灰を見てみよう！ ※雨天のため行程変更 日時：8月7日（木） 9時～16時 場所：城山公園展望台・国分郷土館・関平鉱泉所・霧島神宮 ※貸し切りバスを使用 内容・講師 ①展望台・企画展見学 社会教育課職員 ②関平鉱泉所見学 関平鉱泉所職員 ③霧島神宮見学 社会教育課職員		
活動写真 〔説明〕	   		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（霧島市）

事業名	日韓親善子供大使友好の翼	実施時期	訪問 令和7年7月24日(木)～27日(日) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	大韓民国釜山広域市培英初等学校との相互ホームステイや文化交流などを通して、互いの友好親善を図り、未来を担う青少年の国際的視野を広げ、国際理解を深める事を目的とする。		
参加者	小学5年生～6年生 計12名		
活動概要	訪問地 大韓民国 釜山広域市 培英初等学校 事前学習会 5/31(土)、6/14(土)、6/28(土)、7/12(土) 壮行会 7月16日(木) 訪問 令和7年7月24日(木)～27日(日) 7月24日(木) 溝辺総合支所→福岡空港→金海空港→培英初等学校 培英初等学校:対面式 ホームステイ 7月25日(金) 培英初等学校 学校交流会 (韓国文化体験:伝統菓子作り、うちわ作り、K-POPダンス体験、サムルノリ体験) 7月26日(土) ホームステイ先の家庭と交流 7月27日(日) 金海空港:お別れ会 金海空港→福岡空港→溝辺総合支所		
活動写真	 K-POP ダンス体験  サムルノリ体験  参加者全員で  ホームステイ先の家庭と交流		

令和7年度 夏の「郷土^{ふるさと}に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(霧島市)

事業名	ふるさとの時間	実施時期	令和7年7月6日
趣旨又は目的	○横川の教育的伝統や風土を生かし、直接的な体験活動を通して、郷土の人間関係を築き、「郷土愛」・「人間愛」を育てる。 ○異年齢集団による共同活動を行うことにより、他者への思いやりや奉仕の心を育てる。 ○学者融合の視点に立ち、学校・家庭・地域が一体となり取り組むことで、地域の連帯感を高めるとともに、豊かな心を育てる。 ○ジェンダー平等に関する研修を行うことで、参加者それぞれの職場において、女性が能力を発揮し、誰もが働きやすい職場づくりの取組に向けた意識の醸成を図る。		
参加者	幼児10名、小学生58名、中学生34名、育成者59名、関係者10名 合計171名		
活動概要	○体験学習・・・丸岡公園内及び新しく整備された日本一の長さ(1,616.9m)の「丸岡ゴーカート」のコース上を散策。合計約 3,000m ○郷土学習・・・「丸岡公園」をテーマとしたスケッチ大会 ○室内研修・・・職場・地域・組織・家庭内等においての、男女平等参画の観点から見た取り組み方についてワークショップ形式にて学習。(保護者のみ) 9:00～ 9:15 受付 9:15～ 9:30 開会行事 9:30～10:30 散策(約 3,000m) <u>子供向け</u> 9:30～11:00 男女共同参画に関するワークショップ(<u>保護者向け</u>) 10:30～11:30 スケッチ大会(テーマ:丸岡公園) 11:30～12:00 閉会行事 ※6/14 に協力中学生打合せ会、8/1 に協力中学生のお疲れ様会を実施。 ※単位育成会が中学生を選出し、合計 18 名が企画から運営まで参画してもらった。 ※「地域一体として青少年を育む気風」を醸成させるため、横川地区内の企業より協賛品を提供してもらい、イベントの充実を図った。 ※鹿児島県のアドバイザー派遣事業を利用し、男女共同参画におけるスペシャリストの「高崎恵」氏を講師として依頼した。		
活動写真 [説明]	別紙のとおり		



協力中学生による資料配布



ウォーキング中



ウォーキング中



ワークショップ（保護者向け）



参加者全員による記念撮影

令和7年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(霧島市)

事業名	福山地区子連自主事業福山絆寺子屋 ～ニュースポーツ体験～	実施時期	2025年6月28日(土)
趣旨又は目的	福山地区子ども会員同士の交流を図り、ニュースポーツの競技を体験する。		
参加者	子ども会員 25名 役員 4名 スポーツ推進委員 4名		
活動概要	開催場所: 福山体育館 ・モルック、ペタンク、シャッフルボードをスポーツ推進委員から教わりながら体験する。 ・上記3競技に加え、ふるさと霧島カルタも体験する。 ・各種目30分ずつ、ローテーションで行う。		
活動写真 [説明]	 モルック体験  シャッフルボード体験  ペタンク体験  ふるさと霧島カルタ体験 初めて体験する種目もあり、参加者からは楽しかったと感想をもらった。子ども会員同士の交流もでき、よかった。		

令和7年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名 (霧島市)

事業名	きりしまっ子の体験事業(自然体験編)	実施時期	令和7年7月29日～30日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	郷土に誇りと愛着をもち、将来の霧島市を担う心身ともにバランスのとれた感受性豊かな「きりしまっ子」を育成する。 霧島市内にある山、川等の豊かな自然の中で、異年齢集団生活や自然体験活動を通して、生命や自然を大切にする心、他人を思いやる優しさ、社会性、規範意識、郷土愛等を養う。		
参加者	小学5年生～中学3年生 28名		
活動概要	7月29日(火) 柳ヶ平散策(ガイドさんによる植生説明あり)→関平鉱泉所見学(所長・工場長による説明)→昼食(弁当)→千畳敷周辺体験(自然の滑り台体験・浮かぶ体験)→霧島自然ふれあいセンター入所式(宿泊先)→野外炊飯(みんなでカレー作り)→入浴→星空観察(外できれいな星がみえました。齊藤副所長による解説あり)→1日のまとめ 7月30日(水) 朝のつどい(国際音楽祭演奏によるラジオ体操)→清掃→朝食(霧島自然ふれあいセンターバイキング)→退所式→乗馬(人参のえさやりもさせていただきました。→)→昼食(弁当)→カヌー体験→体験の振り返り(発表用パワーポイント・原稿作成)→閉講式(各班ごとに体験を終えての発表)		
活動写真 [説明]	 柳ヶ平散策  関平鉱泉所見学  カヌー体験  千畳敷周辺探検(浮かぶ体験)  乗馬体験		

令和7年度 夏の「郷土に^{ふるさと}学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 伊佐市立羽月西小学校 ）

事業名	校区夏祭り	実施時期	令和7年8月10日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	校区内の融和と親睦を図り、校区の発展と青少年健全育成を目的としている。		
参加者	小1……1名 小2……2名 小4……2名 小5……2名 小6……5名 コミュニ関係者……10名 学校職員……2名 地域の方々……200名程度 保護者……15名 合計 約239名		
活動概要	児童は、オープニングの神輿パレードに参加した。11名の児童が神輿をかついで、会場内を2周、練り歩いた。 また、ジュース販売では、子ども会主催で、本校児童も販売活動を体験した。 さらに、踊りを習っている児童3名が、音楽に合わせて踊った。		
活動写真 [説明]	 神輿パレード  有志による踊り		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

学校名(伊佐市立牛尾小学校)

事業名	着衣泳体験	実施時期	7月12日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	- 自分の命を守り、水の事故を未然に防ぐため、体験を通して、水の事故に出会ったときに落ち着いて対応できる力を養う。 - 着衣のままで浮くこと、呼吸を維持すること、救助を待つことといった、水の事故に対する理解と技能を身に付ける。		
参加者	牛尾小学校 児童 22名 職員 10名 計32名		
活動概要	9:35～ プール集合完了 全体指導・準備運動 9:40～ 1・2年生は、小プールにて着衣泳 (指導者:1・2年担, すくすく担) 3～6年生は、大プールにて着衣泳 (指導者:3・4年担, 5・6年担, のびのび担) 【指導例】おぼれたときにどうするかを体験的に学ぶ。 ① 着衣の状態で水に入る。 ② 動いたり、泳いだりしてみることで、衣服の重さを体験する。 ★ 溺れた時の対処法についての指導。 (暴れない, 脱力する, 体内に空気を入れる, 空を見る, 等) ③ ペットボトル等の道具で浮く練習をする。 ④ 服に空気を入れて浮く練習をする。 ⑤ 何も使わずに浮く練習をする。 ⑥ 服を脱ぎ、水着の状態で浮く練習をする。 ★ 溺れた人を見たときの対処法についての指導 (助けに行かない, 浮く物を投げる, 大人を呼ぶ, 等) 10:05～ 集合・整理運動 10:10～ 後片付け・解散		
活動写真 [説明]	 何も使わずに浮く練習をする。		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

学校名（伊佐市立曾木小学校）

事業名	灯ろうづくり	実施時期	令和7年7月12日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	○ 地域の方や友達と一緒に、協力して楽しく灯ろう作りをし、校区の夏祭りの飾り付けをする。		
参加者	曾木小学校児童及び保護者、学童クラブ、コミュニティ役員、学校職員		
活動概要	1 はじめの言葉 2 灯ろう作りの説明・製作 材料 牛乳パック 割りばし セロテープ 絶縁テープ マジック 紙 ひも ラミネート はさみ 定規 下絵 えんぴつ 3 作品の鑑賞 4 終わりの言葉		
活動写真 [説明]	【製作活動】 コミュニティの方が、作り方を説明して、灯ろうづくりをしました。   牛乳パックを切る作業は、力があるので、地域の方や保護者に手伝ってもらった子供もいました。   自分の好きな絵を描いて、灯ろうにセットして、割りばしで固定したら、立派な灯ろうの完成です。夏祭りでは、受付のテントに飾り付けられました。		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

伊佐市立菱刈中学校

事業名	情報モラル教室	実施時期	令和7年7月9日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	(1) 情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てる。 (2) 情報社会で安全に生活するための危険回避の方法の理解やセキュリティの知識や技術、健康への意識を高める。 (3) 長期休業前に、ネットの危険性を理解し、モラルをもって使用できるように判断力等を育てる		
参加者	生徒122名・職員10名		
活動概要	1 当日の流れ 13:55～14:00 開会のことば、講師紹介 14:05～15:15 講話 15:15～15:20 お礼のことば 15:20～15:45 感想文記入 2 学習内容 ① ネット詐欺 ② ネットいじめ ③ 不確かな情報拡散 ④ 誘い出し、なりすまし ⑤ 個人情報の管理 ⑥ ネット詐欺 ⑦ 著作権・肖像権 3 講師 e-ネットキャラバン 福山泰仁 氏（株式会社シナプス） 当初、体育館で予定されていたが、感染症流行のために各学級にて校長室からオンラインで行った。		
活動写真 [説明]	 各学級でモニターにて授業を受けた。  校長室より各会場でオンラインで講義。		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(始良市 竜門小学校)

事業名	食に対する関心・理解	実施時期	令和7年7月16日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	- 野菜を育てていくための課題を見つけ、学習計画を立て、その解決に向けて主体的に取り組むことができる。 - 地域の方々(SSVC+事業)との野菜作り(畑作り・苗植え・除草・収穫・収穫祭)を通して、自然や地域の人々との関わりに関心を持ち、「食」と「人とのつながり」の大切さに気付くことができる。 - 体験したことを様々な表現方法を通してまとめ、情報を発信することができる。		
参加者	竜門小学校 3・4年生 (14名) 竜門校区コミュニティ協議会(SSVC+事業) (5名) 竜門小保護者(5名)		
活動概要	- SSVC+事業コーディネーターの方と連絡を取る。 - 地域の方々との顔合わせを行い、交流会をする。 - 地域の方々との野菜作りや収穫祭の計画を立てる。 - 一緒に苗を植え、収穫祭の計画を立てる。 - 草取りや収穫をする。 - 地域の方と一緒に収穫祭を行う。 - 収穫祭でできるようになったことや、地域の方々への感謝の気持ちを伝える。		
活動写真 [説明]	 【顔合わせ交流会】  【畑を作り、苗を植える作業】  【野菜を調理する様子】  【野菜炒めを食べている様子】		

令和7年度 夏の「郷土に^{ふるさと}学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(始良市 永原小学校)

事業名	太鼓踊り練習	実施時期	7月10日, 11日, 17日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	○ 郷土芸能についての理解を深め, 伝承する。 ○ 郷土を愛し, 郷土の発展に尽くす。 ○ 郷土芸能を通して, 強い意志とたくましい体をつくる。		
参加者	全学年(28人)・教職員・永原コミュニティ(6人)		
活動概要	【活動内容】 太鼓保存会の方による太鼓踊りの歴史の説明・動画視聴 運動会で披露する太鼓踊りの練習 【時間】 5時間目(14:05～14:50)		
活動写真 [説明]	 太鼓踊りに関する説明・動画視聴  練習の様子①  練習の様子②  練習の様子③		

別紙洋式 3

令和7年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 始良市 北山小学校 ）

事業名	校内竹水鉄砲合戦 (地域ぐるみの青少年育成)	実施時期	7月15日（火）
趣旨又は目的	1 家庭, 学校, 地域, が一体となり, 地域ぐるみで青少年育成の健全育成を推進する。 2 校区のよさを知り, 親しみをもつ。		
参加者 (人数)	児童 40人 教員 11人 地域 2人 (準備協力) 特認体験児童 1人 計54人		
活動概要	・ 道具の準備や事前の竹水鉄砲作り（6月PTA）では，地域に協力をいただいた。 ・ 地域の自然を活かした活動のよさを味わうことができた。 ・ 子どもたちは校庭狭しと走り回り，活動を楽しんでいた。 ・ 上学年ほど竹水鉄砲の扱い方が上手で，継続して活動することの大切さを改めて実感した。 ・ 特認の体験に来ていた児童も参加し，大変満足そうな様子だった。		
活動写真 [説明]	 やる気満々の1・2年生  的を上手に狙います！  縦割り班で協力（1～6年）  先生とも勝負		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名 (始良市 北山小学校)

事業名	北山みらい学「音を楽しむ」 (地域ぐるみの青少年育成)	実施時期	7月9日(水)
趣旨又は目的	1 科学の不思議について探求する。 2 本校に勤務経験のある教諭と触れ合うことで、その場を離れても、そこに生きる人々と触れ合い、大切にする気持ちを育む。		
参加者 (人数)	児童 29人 教師 3人 地域 5人(内 保護者2人) 講師 1人 計38人		
活動概要	- 音のなる仕組みについて学習したあと、予想を立ててから実験していた。 - 身近に使う道具を使って、ストロー笛やコケコップなど音がでるものを作って楽しんだ。		
活動写真 [説明]	 まず、 音のなる仕組みについて学んでから   実際に音を聴いたり鳴らす道具を作ったりしました。		

令和7年度 夏の「郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（始良市 北山小学校）

事業名	家庭教育学級「親子絵画教室」 (大人の意識の高揚・啓発の推進)	実施時期	8月1日（金）
趣旨又は目的	1 親子で共に活動することを通して、ふれあいの機会を作る。 2 夏休みの宿題(絵画)を終わらせる。 3 「家庭の日」について知ってもらう機会とする。		
参加者 (人数)	児 童 9人 中学生（児童の兄） 1人 高校生（児童の姉） 1人 保護者 8人 講 師 1人 計20人		
活動概要	・ 夏休みの宿題への取組も兼ね「親子絵画教室」を実施した。 ・ 出校日の午後に、学校のランチルームで開催。 ・ 子どもは「家庭の日ポスターコンクール」に、保護者は絵手紙に挑戦した。 ・ 親子で語り合いながら取り組んだり子供そっちのけで絵に没頭する保護者がいたりするなど組む姿勢はそれぞれで、いずれの家庭も楽しそうな様子だった。		
活動写真 [説明]	 はじめに講師がポイントを説明  それぞれに集中して描いていました  講師によるアドバイス  保護者作品は11月の学習発表会で展示予定		

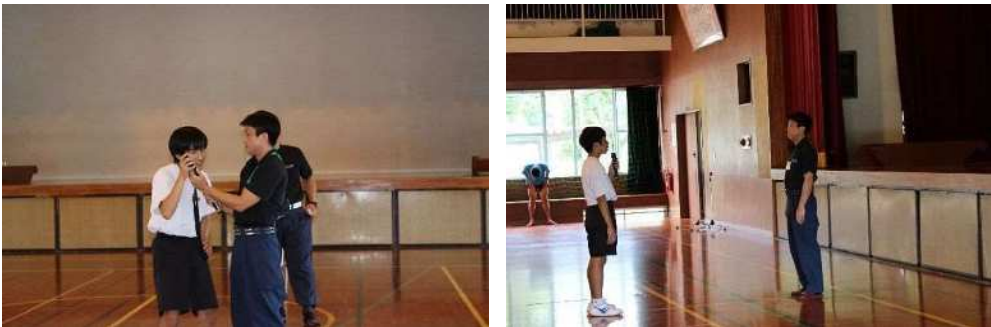
令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（ 始良市 西浦小学校 ）

事業名	家庭・学校・地域が一体となった青少年育成活動	実施時期	令和7年7月1日～8月31日
趣旨又は目的	① 自然に親しむことで、郷土のよさについて実感する。 ② 地域の伝統行事（六月燈）に触れることで、郷土を愛する心を育む。 ③ 愛校作業を通じて、地域の方々と触れ合いながら、奉仕の心を育む。		
参加者 (人数)	西浦小児童・保護者・教職員・地域住民 ① 80名 ② 50名 ③ 50名		
活動概要	① 7/21(月)「川遊び活動」を行った。安全対策、監視などにおいて、地域住民の方々の御協力をいただいた。豊かな自然の素晴らしさを実感すると共に、地域住民の方々の温かさにも触れることができた。地元で採れた鮎の塩焼きも振る舞われ、郷土の食材のよさについても実感することができた。 ② 7/27(日)、地域の大山祇神社六月燈が行われた。事前に、地区コミュニティの方々が、児童数44名分の灯籠木枠を作成してくださり、子供たちは半紙に思いの絵やイラストを描き、灯籠を完成させた。当日は、地区コミュニティの方々が中心となり神社に灯籠を設置すると共に、スイカ割りや花火なども企画してくださり、地域の方々と触れ合いながら、有意義な時間を過ごすことができた。 ③ 8/24(日)、PTA・地域合同の愛校作業を実施した。児童は側溝の泥上げや刈草集めを中心に行い、地域住民には普段なかなか作業ができない学校周辺の斜面草刈りや剪定を中心に行っていただいた。子供たちは自分たちの手で学校をきれいにするると共に、地域の方々が学校を大切に思ってくださっていることについても実感することができた。		
活動写真 [説明]	① 川遊びの様子 		
	② 大山祇神社六月燈の様子 		
	③ 愛校作業の様子 		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(始良市 山田中学校)

事業名	学校保健委員会・家庭教育学級	実施時期	令和7年7月12日(土)
趣旨又は目的	夏場の水難事故防止運動の一環として、この時期に心肺蘇生法を学ぶことは、とても大きな意義があり、技能習得にもつながる。親子共に学ぶことで、年間を通じて生命尊重への意識付けや人命救助への貢献の意識を高める機会として、心配蘇生法講座を開催するもの。		
参加者	全校生徒 50人 職員 12人 保護者 22人		
活動概要	夏場に頻発する水難事故。仮に事故が起きた際、心肺蘇生法を用いた救急措置が必要なことは頭でわかっている、実際にその場に遭遇した場合、落ち着いた行動がとれるわけではない。 本校生徒、保護者、職員が共に心配蘇生法について知識を深め、また、実際に実技講習を行うことによって人命尊重への意識付けを行う機会としたい。 講座には、始良市消防本部蒲生分遣所の職員を講師にお招きし、ダミー人形を使用して実際に心配蘇生を行う内容とした。親子で学ぶ機会となり、貴重な体験ができた。 また、講座の最後には始良市が導入している「Live119」を実際に生徒が体験し、その概要を知ることができた。		
活動写真 [説明]	 ダミー人形を用いて、親子一緒に心肺蘇生法を学ぶ様子  Live119の体験 蒲生分遣所の職員へ御礼のことば		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名（始良市 松原なぎさ校区コミュニティ協議会）			
事業名	2025 松原なぎさがおおすみくん家へ行く	実施時期	8月2日～3日（1泊2日）
趣旨又は目的	松原なぎさ小学校が開校し、その後松原なぎさ校区コミュニティ協議会が発足してはや11年、地域と子どもたちとの関わりの中で数々の問題点が出てきては、地域全体で一生懸命に解決してきました。 そこで、この活動を具体化して学習支援、友達との友情など、子どもたちが未来に向かって羽ばたいていけるよう後押しできたらと思い、今年度もこの活動を計画しました。		
参加者 （人数）	始良市内の小学3年生～6年生 49人 引率者 コミュニティ協議会役員及び保護者 9人		
活動概要	場所：国立大隅青少年自然の家 8月2日（土）7：00 松原地区公民館に集合 結団式 7：30 出発 9：30 大隅青少年自然の家到着 出合いの集い 10：00 映画鑑賞 12：00 昼食 13：00 夏休みの宿題 14：00 ジャンボシャボン玉/草スキー 16：00 施設使用説明等 17：00 夕べの集い 17：30 入浴 18：30 夕食 19：30 キャンプファイア（交換活動） 22：00 消灯 8月3日（日）6：00 起床、清掃、荷造り 7：00 朝の集い 7：30 朝食 8：40 清掃、退室点検 9：00 勾玉づくり 12：00 昼食 13：00 別れの集い 13：30 大隅青少年自然の家出発 15：30 松原地区公民館到着 解散		
活動写真 〔説明〕	 草スキー体験（野外活動）  キャンプファイア（交歓活動）  勾玉づくり（創作活動）  別れのつどい		

令和 7 年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組
市町村名（始良市 始良校区コミュニティ協議会）

事業名	重富海岸干潟の勉強会	実施時期	令和7年6月21日（土）
趣旨又は目的	干潟にはどのような生物がいて、干潟でどのような役割を果たしているのかを知ること。		
参加者 （人数）	小学生 19名 幼児 1名 保護者等 24名		
活動概要	参加者全員で海水浴場の干潟を移植ゴテで掘って小さな生き物をつかまえたり、逃げ回る小さな魚や小さなカニを集めた。 ミュージアムの講師から、集めた小さな生物を分類してもらいカニ類、魚類、貝類など23種類の生物のそれぞれについて説明してもらい、これらの小さな生物が干潟をきれいにしてくれること、家庭排水等をきれいにしてきれいな海にしてくれることを学んだ。		
活動写真 [説明]	 ① 干潟で生き物を探す  ① 干潟の説明  ② 講師の説明  ② 干潟での生き物探し  桜島をバックに全員集合		